



広報 なかわだ

第419号

2015年2月1日

2015年2月

中和田カトリック教会
広報委員会

泉区中田北1丁目9-1 Tel. (045) 803-6141
<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

ユスト 高山右近 殉教400年記念に向けて

フランシスコ・ザベリオ 日野 武満 神父

カトリック教会は、主日のミサで信仰宣言を唱えます。そのなかで、

「聖なる普遍の教会、聖徒の交わり・・・」を祈ります。

聖徒すなわち諸聖人を崇敬し、永遠の命を待ち望む私達の為に主にとりなして下さる聖人、福者、殉教者を崇めます。

日本には聖26殉教者、福者ペトロ岐部と187人殉教者、そのほかに沢山の殉教者がいます。

吉川英治文学全集31巻に、ユスト高山右近についての作品が見られますが、その中にキリシタン大名の両親と共に熱心な信徒であったことがみられます。

キリシタンの禁制によりマカオに亡命し、主なる神にすべてを捧げた生涯について、教会は殉教者として崇めることになり、日本司教団はこの機会に福者としてローマ教皇庁に申請することになり、私たちの祈りをもとめています[来る6月にローマ教皇庁からの派遣団に]。



日	曜	典礼(ミサ)	備 考	その他
1	日	主日ミサ(9:00)	年間第4主日	
6	金	初金ミサ(9:30)		
8	日	主日ミサ(9:00)	年間第5主日	教会委員会
11	水	週日ミサ(9:30)	ルルドの聖母	聖書の分かち合い(10時)
13	金	週日ミサ(9:30)		
15	日	主日ミサ(9:00)	年間第6主日 病者の塗油	信徒の会
18	水	祭日ミサ(19:00)	灰の水曜日	聖書の分かち合い(10時)
20	金	週日ミサ(9:30)	十字架の道行(9:00)	
22	日	主日ミサ(9:00)	四旬節第1主日	
25	水			聖書の分かち合い(10時)
27	金	週日ミサ(9:30)	十字架の道行(9:00)	

～ 中和田の風 ～

不思議なこと

— 聖霊来てください —



聖書の会、聖歌隊、会計、バザー手作りグループの一員として活動しておられる永島安子さん（79才）にお話を伺いました。

▲受洗に至った経緯をお聞かせください。

一終戦後小学校から上の学校に上がる時、男女共学の学校制度に変わりました。それまでの女学校に行くものと思っていた私はその新制中学に行くのが嫌でした。たまたま友達から私立の女学校（聖園女学院）を受験すると聞きました。私は父にその学校がどんな学校かも全く知らずにそこに行きたいと頼みました。公立小学校の校長だった父は翌日学校を見に行き、願書受付の最終日だったそうですが、その場で申し込んできてくれました。学校の教育方針に安心したのでしょうか。受験の結果、私は受かり教えてくれた友達は落ちてしまいました。どういうわけか私の方が受かってしまったことや、この学校に受かっていなければ神様にも出会っていなかったかもしれないと思うと不思議でなりません。

▲未信徒のご主人と結婚され、二人のお子さんが受洗された経緯を教えてください。

一主人は私の信仰を否定することはありませんでしたが、結婚式は神道で行いました。日曜日は私だけが教会に通い、二人の子供が生まれてからも子供たちと教会に通うことに異論はありませんでしたが、幼児洗礼には反対されました。大阪に転勤したばかりで上の子供が四歳の時、子供たちを連れて当てもなく歩いていると横断歩道の向うからシスターが歩いてきました。思い切って声をかけ池田カトリック教会に連れて行ってもらうことができました。ある日私が不在で主人が家にいる時、神父様が訪ねて来られました。偶然にも主人はその少し前にローマの出張から帰ってきたばかりのところだったので、ゴルゴタの丘や嘆きの壁を見に行ったことなどを話していると、神父様から結婚式を教会で挙げず、バチカンに結婚届けを出していなければ私が破門されると言われたそうです。その後主人は結婚届を提出することと子供たちの受洗も承諾してくれました。ただ歩いていたらシスターに出会ったこと、私が留守中に神父様がいらしたこと、主人がローマから帰って来たばかりだったことなど本当に不思議なことが重なり今の私があると思います。

▲去年の夏、入院なさって体調を心配しておりましたが、教会のイベントに積極的に参加されていますね。どんな思いで参加されていますか？

一これから先、そう長くはないと思うと、もっと聖書の「みことば」を知りたい、神様に近づきたいと思う一心で来ています。中学の時、私だけが聖園に受かったことに責任のようなものも感じていますし、不思議な体験を通して神様に招かれたと思っています。いつの日か子供や孫たちにも私に起こったような不思議なことが起こって、教会に戻って来る日が来ますようにと、ただただ「聖霊来てください」と祈っています。

横浜教区典礼研修会開催のお知らせ

今年も、恒例の横浜教区典礼研修会が開催されます。

決して典礼奉仕関係者向けに限った研修会ではなく、全ての信徒に向けた「分かち合いの場」です。

お誘い合せの上、奮ってご参加ください。

- ・日時： 2015年2月11日（水・祝）10：00～16：00
- ・場所： カトリック藤沢教会
- ・テーマ： 「入信の秘跡を生きる ～堅信に焦点を当てて～」
- ・講師： 横浜教区典礼委員：久我純彦師、カンペンハウド師、青木利道氏
- ・参加費： 1人 500円（昼食は各自持参）
- ・申込期限： 2015年2月3日（火）

（典礼グループ）



娘の成人式に寄せて

1月11日教会のごミサで娘留美の成人式のお祝いをしていただきました。当日はごミサの前から、「娘さんの成人式おめでとうございます」と多くの方から声をかけてもらい、改めて感じたことは多くの人に支えられて、ここまで育ってきたという感謝の気持ちでした。20年を振り返るとき、自分が頑張ったことだけを思い出し、ややもすると「自分たちだけで子育てをしている」などと、錯覚してしまうこともありましたが、皆様から声をかけていただいて、娘の成長はいつも中和田教会の皆様に見守られていたことを実感することができました。

留美は平成7年6月大宮桂子さん（現保科桂子さん）に代母をお願いし、洗礼の秘跡を授かりました。幼少の頃は石井悠子さんが指導して下さった「イルカクラブ」で、信仰の基礎を築くことができました。平成13年4月、私の転勤でフランスに引っ越すことにともない、小学校入学前にもかかわらず、急遽出国の四日前に初聖体をしていただきました。初聖体について、山崎神父様が「初聖体のお恵みは家庭に与えられます。」と言われ、事前の学習もしないで許可していただいたことが、私の襟を正す機会にもなりました。おかげで(?)、お説教の内容が全くわからないフランス語のミサでも三年間教会に通うことができました。帰国後、娘たちは三年間のブランクがなかったかのように、自然に要理学校の仲間入りをしました。留美がクリスマス劇のヨゼフ様役の時、目立ちたくて(?)勝手にアドリブで語り出したときは呆れてしまいました。平成19年6月に堅信の秘跡を授かりました。武田さんが準備して下さった、豚の丸焼きの前でうれしそうにピースをしている姿が印象に残っています。こういった教会での数々の出来事のひとつ一つにきちんと感謝できたのか、親としての反省も残っています。



娘が『広報なかわだ』411号の～中和田の風～に「居場所」という内容で寄稿していました。娘が中和田教会を自分の居場所と思うことができることが最も大きなお恵みであり、そのことを中和田教会の皆様感謝しています。また、留美の書いた「居場所」の内容が有言不実行とならないことを期待しています。

最後になりますが、ミサ後のお祝いパーティーの企画・運営も含めて、20年間娘を見守り、成長させていただいた中和田教会のすべての皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございます。（森脇 信行）

行事グループの仕事を終えて

先日の成人のお祝いの会では森脇留美さんを囲んで、大勢の方が参加してくださり、和やかな一時を過ごせましたこと、心からお礼申し上げます。先輩たちからの温かいメッセージを受け、留美さんも中和田の信徒の一員として、より一層ご活躍くださるものと確信いたしました。

そしてやっと私たち行事グループは、2014年度の行事を無事にすべて終えることができました。これもグループメンバーの皆さんとご協力くださった中和田の皆様のおかげです。有り難うございました!!

振り返れば小林神父さまの送別を兼ねての復活祭パーティ、日野神父さまの歓迎会、堅信式後に受堅者と梅村司教さまを囲んでのパーティーと大きな行事が続きましたが、皆さまから沢山のご寄付をいただきましたこと、またグループメンバーの中に心強い協力者がいらっしゃいましたので何とか乗り切ることができました。武田さんご一家のご協力に改めて感謝申し上げます。

9月の敬老会ではお天気も良く沢山のご出席をいただきました。会場の七割はお祝いされる方でしたが、皆様お元気で楽しそうにご歓談されていました。12月のクリスマスは平日でしたので翌日の出勤や学校に備え、パーティーはなし。ミサに参加された方、お一人お一人にクッキーやキャンディーをプレゼントしました。24日のミサに例年以上に沢山の方がいらした為、お菓子が足りなくなって嬉しい悲鳴でした。そして1月の成人のお祝いの会で締めくくりました。

今年度一番大きな変更はバザーを行事の仕事から切り離し、信徒の自主的な参加でバザー委員会を立ち上げ、運営、実施していただけたことです。もちろん行事として当日のご接待やお疲れさま会のお手伝いを積極的にいたしました。おかげさまで行事メンバーの負担が軽減され他の行事に専念することができました。バザーが独り立ちできましたのも皆様のご理解とご協力によるものです。本当に有り難うございました!!

最後に要理学校の皆さんにお礼を申し上げます。この一年間の行事のいずれの時も大きな声で一生懸命歌を歌ってくれました。君たちの歌声にどれだけ癒され、元気をもらったことか。どうもありがとう!!!（岩渕 洋子）

委員会だより

(文中敬称略)

△1月11日(日) 15名出席▽

■日野神父様のお話

・今日は成人の日のお祝いで、今年初めての委員会です。

■報告事項・その他

・スケジュール確認(2月)
・月修資料と司教館資料が配布され、説明された。

■各グループからの報告

●典礼(大宮(智))

・2015年度典礼こよみ
敬老ミサは、9月13日(日)に変更。
6月7日(日)の初聖体は12月に移す。
大掃除は、3月15日(日)と11月29日(日)に入れる。

・四旬節の黙想会は、3月22日(日)に栄光学園理事長の萱場神父様に依頼済み。

・聖体賛美式を12月28日(日)に実施した。次回はリハールサルを実施する。

・典礼としての改善要望
→奉仕活動の地区活用を進める。(葬儀ミサの運営等) 奉仕者を募る。(オルガン・侍者)

●財務(甲斐)

・2014年度決算
収入：月定献金／約92%、
全体／約100%
支出：約111%
・2015年度予算
一般会計→教育養成費が少ないの

で少し上げてほしい。(要理学校の子どもの教材費など)

建設会計→設備費でベランダ工事(物干し台)を入れた。今迄、多大な費用の工事は委員会で承認して実施していたが、これからは、プロセスを皆に周知する。

愛の献金→カリタス・ジャパンの項目は入れない。

●宣教(井上)

・湘南キリスト教セミナーは、今年
は中和田教会で11月に実施の予定。

●要理(森脇(彰))

・2015年度も要理学校は第3
(親)、第4(神父様)週に活動予定。

●営繕(福島)

・台所給湯器、ガスヒーター交換、
2Fガスヒーター、洗濯場蛍光灯購入。

・大きな改修工事等は、トイレ・お
御堂の改装など100万円以上は
信徒大会にかけていたが、これか
らは、周知の方法を考える。

●総務(岩瀬)

・教会の現勢報告書をまとめて教区
に提出した。信徒数は346名、
不明者は20名。

●広報(今井)

新体制で2月号の編集を開始。原
稿依頼(締切1月21日)

●福祉

・12月に旅路の里へ毛布や衣類を送
った。DV(暴力避難場所)へ、戸塚
教会を通じて女性用衣類を届けた。
12月分のお米とお肉を送った。湘
南キリスト教セミナーの感想文が

好評だったので、在宅信者に、コ
ピーして広報誌とともに送る。

■討議報告事項

・新委員の紹介(各部の委員とメン
バー表が配られた)

・委員長の選出

予め用意された「委員長決定の
プロセス」の手順にしたがって、
以下のように選出された。

委員長

…岩瀬 英介

副委員長

…岩崎 好愛

・信徒大会について

1月25日(日)の信徒大会に向け
て議案等を討議した。

議案としては、建物の改修につい
て、屋根の修理について、教会の
建替えについて、葬儀ミサについ
て等がある。

■その他

・巡礼の募集について(日野神父)
3月16日〜3月25日の巡礼を募集
する予定。

(次回委員会 2月8日)

以上



2月号編集後記

先日信徒大会で、委員長以下全ての組織が決まり、承認されました。広報部も7名になり、心強く思っております。色々な方の思いやご意見を参考にし、より良い広報誌の紙面作りに努力してまいります。

中和田教会に限らず、組織の高齢化は課題となっています。これは、仕方のないことですが、中和田教会では子ども達も元気に通っている姿が見られるので、明るい兆しかなと思っています。大人達の活動する姿を見て子ども達は育っています。

教会の活動組織に多くの方に参加していただき、組織の流動化を図っていく今回の委員選出制度が、新しい風となっていくことを願います。

広報誌も巻頭ページを少し変えてみました。お気づきになったでしょうか。巻頭言を昨年に引き続き、数名の方で執筆していただくことにしました。執筆者の方々の色々な個性や考え方が感じられると思います。また、「典礼こよみ」を「教会こよみ」にしました。月の主な活動を記して、より見やすいものにしました。

「中和田の風」は好評により、できるだけ多くの方に登場していただくと思っております。教会でお会いする方々の、今迄の経歴や信仰への思いの新たな発見に感動します。

これからは、教会に関わりのある活動をする中和田教会外の方にも登場していただく企画も考えています。

これからも、親しみやすく、見やすい広報誌を目指して努力していきますので、皆様も是非、記事に目を通していただきますようお願い致します。(武田幸子)